令和3年度　武生商業高等学校　学校関係者評価書

（問）◆学校評価書の成果と課題が適切か、また意見はないか。
◆成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か、また、意見はないか。
◆その他

（意見を聞いた方）
所定用紙での意見：PTA会長、PTA副会長（3名）、PTA役員（9名）

（意見欄）

〇教育課程・学習指導
- 繰り返しの習慣がつく小テストの利用は効果的だと思う。
- 新型コロナで授業がスムーズに進められなかったことがあったと思うが、タブレットが効果的に利用ができていたかは家庭では確認できなかった。一方通行的にならなければいいと思う。

〇生徒指導
- 特に違反的な服装や髪形は見られず、もっと自主性に任せても良い気もする。
- いつも感じよく挨拶もしてくれて、この雰囲気は保ってほしい。

〇進路指導
- わが子が自分の進路を中学校の時から決めていたこともあり、自主的に体験に出かけたり資料を集めたりしていたため、進学の生徒へのガイダンスなどはあまり分からなかった。
- 全体的な情報は分かりにくかったように思う。

〇保健管理
- 新型コロナ禍であっても、対策をしっかりしてイベント等はなるべ開催してほしい。

〇図書指導
- 図書館だよりを隅まで読んでもらえるとよい。
- 子供たちからのおすすめの本などを廊下などに展示するなど身近に本をあふれさせるとよい。
- POPなどを生徒に作らせるのも良い。
- 家庭学習に15分読書など取り込むなど習慣化させるのも面白いのではないか。

〇PTA活動
- PTA活動もコロナ禍のなかで制限され、コロナ以前の状態が分からなくなってきている。
- 工業キャンパスとの一本化で新しい形のことを試すことも増えてくると思う。常に情報共有できるようにしたい。
- 多くの方が楽しめて、子供たちの様子が見られるように開放的な雰囲気を作ってほしい。
- 今年のPTA活動に対する評価が低かった要因として、PTA活動が思うようにできなかったことと、実際に保護者が学校に行くこと、行事に参加することの機会がほとんどなかったことが考えられる。特に、1、2年生の保護者から、学校の行事やPTA活動が良く分からないといった声がある。
- これからは、コロナ禍であっても学校行事やPTA活動、保護者が必ず参加できる方法を考えていく必要があると思う。
- 次年度は、武生商工高校PTAが立ち上がるので、従来のやり方にこだわらず、学校やPTAの新しい取り組みで活動をしていってほしい。

〇その他
- ほとんどの項目で学校評価の目標値を達成されていて、先生方の取り組みのお陰だと感じています。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）

教務	・小テストの取り組みに賛同いただきありがたく感じる。各教科の連絡を密にしてより効果的な取り組みにしていきたい。 ・3月上旬の新型コロナによる休校措置の中、はじめて本格的な配信授業を行った。今後はタブレットの利用について保護者にお知らせする方法を考え、一方通行的にならないよう工夫したい。また、教員のタブレット研修を続け、通常授業にもより効果的なタブレットの使用に努めたい。
生徒指導	全教職員の共通理解と協力のもと、家庭との連携を図りながら指導を継続していく。今は大きな問題もなく、生徒は落ち着いた学校生活を過ごしている。現状に甘えることなく、今後も外部から講師を呼んでの情報モラル講演会や集会等を通じて指導していきたい。
進路	今年度もコロナの影響で、PTA総会時の進路ガイダンスが変則開催となったり、オープンキャンパスや職場見学など制約が多いなか保護者の皆様には柔軟に対応していただき感謝している。就職希望者に対する模擬面接も実施していただき緊張感ある面接となり次年度以降も協力をぜひお願いしたい。 進路情報に関して、生徒と保護者に対して最新の情報をしかもわかりやすく提供していくことが課題であり、紙だけでなくホームページやタブレットを活用した方法など検討していきたい。
保健	新型コロナウイルスに対する予防策が新しい生活習慣として生徒たちに定着していくよう進めていきたい。
図書庶務	〇読書指導について 今年度は、図書委員による学級文庫の選定、図書だよりによる新刊本の紹介、生徒たちによるおすすめ本のPOP作りなどを行った。今後、朝読書の効果的な方法や図書館活動の充実について話し合いを重ね、読書の習慣化を目指したい。 〇PTA活動について コロナ禍のなか、PTA総会や各会議等が書面開催となり、さらには学校行事の日程が大幅に変更され、保護者の皆様には柔軟な対応や生徒のサポートをしていただき大変感謝している。また、役員の皆様には、新しいPTAの立ち上げにご尽力いただき、令和4年度からはいよいよ新PTAの活動が始まる。従来の活動内容にこだわらず、新しい取り組みを保護者の方とともに考えていく必要がある。
商業科	多種多様な生徒が増えてきていることで、個別の手厚い教科指導が必要である。次年度に向けても商業科が連携を取り合い、生徒が満足するような結果をサポートしなければならない。難易度が高い検定に重点を置いてしまうが、それぞれの学年で目標とする検定試験について、合格できるような指導を心掛けていく。さらに、福井フューチャーマイスター全員認定を目指し取り組んでいきたい。
いじめ	・授業の中でも意見交換の時間を設け、相手の意見を尊重する態度の育成に努めていく。 ・ピアサポート活動を充実させ、相手のよいところを発見させたり、相手の立場に立ち共感する能力を身につけさせたりする活動を継続する。 ・新型コロナウイルス感染者等に対する誹謗・中傷を絶対にしないよう、具体的な事例を提示しながら指導を行う。